

## 東北復興 PSW にゆうす

あの東日本大震災から8年目を迎えます。一見、日常は回復しているようにも見えますが、様々な格差は確実に拡大しています。時間の経過に捉われず、自分は何を為す人か、今一度、問い直していきたいと思います。

### 委員長メッセージ



「またひとつの歩みへ」

東日本大震災復興支援委員会  
委員長 福井 康江

今年1月の復興庁発表によれば、避難者は当初の47万人から8万人まで減少。14万件が自主再建し、災害公営住宅（復興住宅）は2018年3月末までに2万9千戸が完成見込みとなり、2018年度内に最終予定戸数の3万戸が概ね完成予定としています。また、復興の新たなステージに応じた切れ目のない支援を課題とし、その対策の一つとして心身のケアへの支援、生きがいづくりのための「心の復興」を謳っています。

「心の復興」とは、心が復興するとは、いったいどのようなものなのでしょうか？ 何ができることが「心の復興」につながるのでしょうか？ 私たちが聞いてきた、エンパワメントやリカバリーとはまた違う意味合いを持つと考えるならば、この言葉の意味を今、読み深めたいとの思いに駆られています。

8年目の3月が巡ってきました。この東北の地で、ここで暮らす人々と共に、取り戻すのではなく何かを創り出していきたいと、祈りと共に願いをこめ、また一歩進んでいきたいと思っています。



(2月26日に新築移転した宮城県石巻合同庁舎)

### 【TOPIX①】 映画「生きる街」

3月3日より震災後の石巻を舞台とした映画「生きる街」が公開されました。「傷ついた人に寄り添い、今もその街は未来を信じて生きている。」(公式サイト予告編映像より) 全国順次ロードショーとなっています。



(石巻市内に設置された献花台)

### 岩手県

復興支“縁”ツア- in いわてが、3月3日(土)、4日(日)に開催されたよ！その詳細は次号で。^^☆



宮城県

### 【TOPIX②】 世界防災フォーラム@仙台

昨年11月25～28日に第1回世界防災フォーラムが仙台にて開催されました。参加者は、同時開催イベント「ぼうさいこくたい」「防災産業展」の出展者・来場者や世界防災フォーラムへの一般市民来場者も含め、延べ約11,200名にも達しました。この「世界防災フォーラム」は隔年開催で2019年秋に同じく仙台にて第2回が開催される予定です。

福島県

### 【TOPIX】 研修「相双地域から考える地域包括ケアシステム 2018.03.10」

被災・避難者支援を目的に職能6団体で結成された福島県相談支援専門職チームも今年度を以って解散することになりました。しかし、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、5万人越の方々が未だ超長期避難を余儀なくされています。沈潜化する課題は山積。それらにどう目を向けるか、標記研修を介し、多団体合同で新たな展開を模索していく動きもみられています。

### ■募集■ - 東日本大震災復興 助成金交付申請 (第14期) -

本協会では、東日本大震災復興支援事業の一環として、都道府県精神保健福祉士協会等による復興支援活動の経費を助成しています。第14期申請受付期限は、2018年7月31日(火)[当日消印有効]です。交付申請書に必要事項をご記入のうえ、本協会の事務局宛にご郵送ください。♪

<http://japsw.or.jp/backnumber/oshirase/2018/0315.html>

【事業所紹介】（福島県）

「福島県精神保健福祉士会とコーヒータム」

NPO 法人コーヒータム 理事長 橋本 由利子



NPO 法人コーヒータムは、福島県浪江町で 12 年前に誕生した小規模作業所です。あの東日本大震災と原発事故がなければ、町内に 2 店舗の喫茶店を運営し、無農薬の野菜などを作りながら、ゆっくりゆっくりと社会参加をしていたはずでした。

しかし、2011 年 3 月 11 日を境に利用者 15 名、職員 5 名の全員が避難を強いられ、知らない土地、新たな生活環境にさらされることになりました。その後、利用者が避難する避難所などへの訪問を重ねました。そのなかで、「せめて日中だけでも顔なじみの人達と一緒に」との思いを強くし、事業の再開を急ぎました。

あれから 7 年、コーヒータムは避難先の二本松市で元気に活動をしています。震災は、それぞれの人生を大きく変えてしまいました。しかし、良かったこともあります。それは、いろいろな出会いがあったことです。その一つに福島県精神保健福祉士会（以下、同会）とのつながりがあります。同会の皆さまには、震災の年より現在に至るまで途切れることなくご支援をいただいています。その当初は、避難生活を続ける利用者と職員の悩み相談が中心でした。やがて、二本松市近隣から通所される利用者も増え、浪江町（避難元）出身者と地元（避難先）利用者の間で軋轢を生じることもありました。ご支援を受けながら、それも少しずつ解消されていきました。コーヒータムが新たな地域に根づく土台を一緒に作っていただいたと思っています。現在は、同会と支援契約を結び、毎月 1 回、会員をご派遣いただき、利用者から提起があった諸問題をその他の利用者や職員全体で話し合えるよう配慮してもらえたり、利用者の個別相談に対応いただいたりしています。



支援契約、調印式を終えて

コーヒータムが新たな地でこうして活動を続けてこられたのは数多くのご支援があってこそです。その中でも同会のご支援は利用者、そして職員のメンタル面で大きな支えでした。

また、全国大会の物販にも毎年お声掛けいただき、大変お世話になっております。この場をお借りし、全国の皆さまにも心から感謝申し上げます。

★覚えておきたい：避難情報★

東北・北海道の各地に甚大な被害をもたらした平成 28 年台風 10 号をきっかけに、「避難準備情報」が「避難準備・高齢者等避難開始」に名称が変更されました（2016 年 12 月 26 日：内閣府）。その種類は以下の通りです。

※引用：防災タウンページ

避難情報の種類	発令時の状況	どのような行動を取るべきか
避難準備・ 高齢者等避難開始	避難勧告や避難指示（緊急） を発令することが予想される 場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも避難できるよう準備をしましょう。</li> <li>身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。</li> <li>避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児をお連れの方など）は避難を開始しましょう。</li> </ul>
避難勧告	災害による被害が予想され、 人的被害が発生する可能性が 高まった場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>「避難場所」や「避難所」へ避難しましょう。</li> <li>*地域の「避難場所」や「避難所」をもう一度確認しておきましょう。</li> <li>地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難しましょう。</li> </ul>
避難指示 （緊急）	災害が発生する等状況がさら に悪化し、人的被害の危険性 が非常に高まった場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難しましょう。</li> <li>外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所に避難しましょう。</li> </ul>

【ご意見・ご感想をお寄せください】

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しています。FAX もしくは E-mail: office@japsw.or.jp で皆さまのお声をお聞かせください。

★題名に「PSW にゆうすについて」とご記入をお願いいたします。★

第 33 号 2018 年 3 月 15 日発行

発行：公益社団法人日本精神保健福祉士協会

東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 23-3 四谷オーキッドビル 7F

TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

★URL : <http://www.japsw.or.jp/>

★東日本大震災復興支援サイト

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>